

行政評価シート(事後評価)

コード 7-1-9	事務事業名 市民会館管理運営	所管部課 生活環境部生活文化課
--------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等		
	市民及び地域社会の福祉の増進、文化の向上に寄与するため、利用者が安全快適に利用できるような管理運営に努めるとともに、来館者の利用増を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領		
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等			
施設は、定員502名の講演会・踊り・歌・演劇等の多目的に利用することを想定した舞台設備を備えた公会堂、定員100名の簡易防音と跳ね上げ式小舞台を備えたプレイルーム、定員100名の柔道・剣道・空手・ダンス等に使用される体育室、その外定員18名～100名までの会議・講習等に使用される会議室・和室、宴会が可能3室備えている。公会堂の舞台機器等の操作及び進行は舞台技術者が常駐し対応を行っている。会議室等は利用者の要望に合わせて、備品の設置、利用上のアドバイスを行いながら貸し出しを行っている。施設維持としては、設備関係の保守・補修、館内の日常・定期的清掃、警備等の業務を実施している。				
事業開始時期	合併前から	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)	千円	83,418	81,626	87,814	87,814
財源: 国庫支出金・都支出金					
財源: 地方債					
内訳: その他 (公会堂・会議室等使用料)		16,371	15,135	16,713	15,931
財源: 一般財源		67,047	66,491	71,101	71,883
所要人員(B)	人	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,185	8,161	8,161	8,161
臨時職員等賃金(C')	千円	4,965	4,954	4,954	4,954
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	96,568	94,741	100,929	100,929
単位当たりコスト (E)=(D) / (市民会館の開放日数)	千円	316	315	328	331

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
開放日数	実績値 日	306	301	308	305
管理体制	実績値 人	4	4	4	4
(指標の説明・数値変化の理由 など) 市民の利用に供する施設として、施設の開放日数及び管理体制を指標とする。					
成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一 次 利用件数	目標値 件	8,996	8,849	9,055	8,967
	実績値 件	7,423	6,812	6,732	
二 次 管理運営	目標値				
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) どの程度の市民に利用されているかを統計資料から算出した。また、利用を通して市民団体の活動の育成、質の向上、拡がり等がなされたかが重要となる。管理運営面では手続きの簡素化、利用しやすさ(サービスの向上)が図られているかが視点となる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	会場提供としては、概ね評価をいただいていると考えている。建築後40年弱経過していることもあり、空調・防音等の構造設備上の課題がある。施設全体が定員の割りに小さめである。要望としては、100数十名以上収容できる会場の希望、完全防音になっているリハーサル室、パソコン・DVD等の映像機器などがある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	市民会館は、各種団体個人に様々な催物の会場の提供業務を行っている。会館主催の事業を行っているところと比較すると事業運営に必要な情報・各種機器類・人材派遣・飲食等の提供接待は最低限度の対応となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	各集会所・コール田無・こもれびホール・公民館等がある。民間においては、飲食の提供・祭事関係・画廊等の目的が特化された会場提供はあるが、多目的に会場を提供している施設はないと思われる。

コード 7-1-9	事務事業名 市民会館管理運営	所管部課 生活環境部生活文化課
--------------	-------------------	--------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	建物の老朽化に伴い、改修工事等を含む将来計画の検討が必要である。管理運営面では、施設維持管理を継続していくと同時に、各種事業のサポートをどの範囲まで提供していくのが課題である。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	施設の運営については、費用対効果の検証をする中で、委託化等も視野に入れた見直しを検討すべきである。 また、施設の老朽化や耐震性能の課題を踏まえ、将来のあり方について公共施設適正配置の視点からも検討し、早急な方向付けが望まれる。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	施設の老朽化が顕著であることから、市内及び他市における文化施設の設置状況、当該会館の利用実態等を検証し、公共施設適正配置の観点から将来のあり方について検討する必要がある。